

## 親切運動の取組について

学校名 小矢部市立東部小学校

児童生徒数 86名

### 1 親切運動の取組の紹介

#### (1) 福祉施設への訪問（6学年）

総合的な学習の時間として地域のデイサービス施設を7月、9月に訪問した。今年度は2回訪問することができた。トランプをしたり、すごろくをしたりしてお年寄りが知っている遊びを一緒に楽しんだ。

また、子供たちは、学校で歌っている歌やお年寄りとの遊び、お礼の言葉を述べ交流ができたことの感謝の気持ちを伝えることができた。



#### (2) 車いすバスケットボールで交流、盲導犬とのふれ合い体験（6学年）

小矢部市出身の車いすバスケットボール選手の方とバスケットボールを通じて交流した。障害を受け入れ向き合う姿やいつも笑顔で優しく語りかけてくれる姿を見て、どんなときも前向きに取り組むことの大切さに気付いた。また、盲導犬ユーザーや盲導犬とのふれ合いを通して、障害があっても何でも進んで挑戦していくことで自分の夢を実現できると学ぶことができた。

#### (3) アルミ缶回収（全学年）

毎月1回、金曜日の朝、運営ボランティア委員を中心にアルミ缶回収をしている。集めたアルミ缶の収益で清楽園に車いすを送っている。アルミ缶を持ってきてくれた子供の名前を全校放送で呼びかけることで、協力する児童を増やしたり、今後の活動につなげたりできるようにしている。

### 2 親切運動に取り組んで

#### ○取組の成果

- ・自分の思いだけでなく相手のことを考えながら活動しようとする意識が育ち始めている。
- ・1つの親切によってたくさんの人が笑顔になることができると実感している。
- ・家族や地域の方に協力してもらうことで、たくさんのアルミ缶を回収できている。

#### ○課題と今後に向けて

- ・全学年に福祉教育を位置付けるようにすることで、ボランティアの心を低学年の頃から養いたい。
- ・6年生の福祉教育に関わる活動等を他の学年にも共有できるようにしたり、参加を呼びかけたりしてボランティアへの興味をもたせるようにしたい。
- ・アルミ缶回収に協力する子供が少ないので小さなボランティアをさらに呼びかけたい。